



いとう



海援隊旗(二隻きの旗)

<http://www.ryoma-kinenkan.jp>

画 竜 GARYO TENSEI 点 晴

4月21日(土) グランドオープンします!

ごあいさつ



高知県知事

尾崎 正直

高知県立坂本龍馬記念館

龍馬の偉業を後世に伝えたいという熱い思いで募金活動を開始され、その思いが結実し、平成3年11月に開館しました。そして開館より27年目を迎え、また明治維新150年という節目の年である本年の4月21日、新館の整備と既存館のリニューアルが完了し、いよいよグランドオープンを迎えます。新しく生まれ変わった坂本龍馬記念館は、「龍馬と、心通わす」をテーマに本物の資料を収蔵・展示できる、博物館としての機能」を備えた新館と、「龍馬と、遊ぶ」をテーマに既存館を一新し、映像やイラストなどを効果的に活用した「体験型展示」を備えた本館の二館により龍馬の功績や人柄を深く存分に体感できる一層魅力的な施設となっております。

県では、昨年3月4日より開催しております「志国高知幕末維新博」の第二幕を坂本龍馬記念館のグランドオープンに合わせて開幕し、引き続き本県の魅力を満喫していただけるよう取り組んでまいります。

メイン会場の一つである坂本龍馬記念館においては、龍馬の直筆の手紙をはじめ、幕末維新期の貴重な資料を紹介する展覧会を開催するなど龍馬の魅力積極的に発信していく予定であります。

グランドオープンを契機として、「志国高知幕末維新博」を二層盛り上げるとともに、「龍馬の殿堂」としてふさわしい施設となるよう努めてまいります。ぜひ多くの方々にご高知へ訪れていただきたいと考えておりますので、皆様のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

グランドオープンにあたって

(公財)高知県文化財団
理事長 浜田 正博

いよいよ待望の博物館機能を備えた新館とリニューアルした本館がこの4月21日にオープンいたします。この新館の建設によりまして、他館から本物の資料を借り受けることも容易になり、本格的な企画展が展開できるようになりました。

従来は、入館者の大多数が県外の観光客の方でしたが、興味を掻き立てる企画展の実施により、龍馬に関心をお持ちの県内の方々にも多数入館していただければと考えております。

文化財団としてもこのような立派な施設を積極的に活用し、入館者の増加に努めてまいります。

最後に坂本龍馬記念館のオープンに向けてご尽力いただいた関係者や地元の皆様にご挨拶申し上げます。

記念館の再スタートに向けて

高知県立坂本龍馬記念館
館長 高松 清之

いよいよグランドオープンの日を迎えようとしている。博物館仕様の新館が加わったことに伴って、今後の記念館の運営に求められるものも少なからず変化していくことが予想される。

龍馬を巡る逸話の中に、長刀から短刀へ、短刀からピストルへ、そして、武器から万国公法(学問)へというものがある。時勢に適応することの大切さを語ったものである。

記念館にとっては、これまでの活動ややり方に拘泥することなく、また、変化を恐れ、因循することなく、新たに求められるミッションに真正面から取り組んでいく気概と実践が問われることを覚悟しなければならぬ。

順序が違うのでは、との指摘もありそうだが、「新しい革袋」に盛り込むべき「新しい葡萄酒」の用意が急がれる。職員一同腹を括ったの船出としたい。

高知県立坂本龍馬記念館 いよいよグランドオープン！

静と動の妙味
博物館仕様の新館とパフォーマンス館の本館 面積も2倍に

高知県立坂本龍馬記念館は、昨年4月から1年間の休館を経て、新館建設と本館リニューアル工事を終え、いよいよグランドオープンします。開館27年にして、記念館の歴史は大きな扉を押し開きました。

ここに至るまでには、400万人近い入館者の方たち、記念館を見守り応援してくださる多くの関係者がいました。その方たちを代表して、11名の方から祝辞やメッセージを寄せていただきました。
(敬称略)

「龍馬の殿堂」 世界に発信

高知県議会議長
土森 正典



高知県立坂本龍馬記念館のグランドオープンを心から

お喜び申し上げます。

明治維新150年の節目の今年に新館の整備と本館のリニューアルが完了し、新館では重要文化財等の貴重な資料の展示が、また、本館では映像や音声を活用した体験型展示が可能となりました。

今後、坂本龍馬先生の功績や人柄をより深く、より楽しく学べ、先生と心を通わすことのできる「龍馬の殿堂」の魅力が世界に発信されることを御期待申し上げます。

龍馬の功績・ 意志を伝えて

高知市長
岡崎 誠也



高知県立坂本龍馬記念館のグランドオープンを心から

お慶び申し上げます。坂本龍馬記念館は、1991年の龍馬の誕生日に桂浜公園に開館して以来、「龍馬への入り口・殿堂」として、国内外の龍馬を敬慕する人々から愛されてまいりました。

桂浜と龍馬像、そして雄大な太平洋とともに、かけがえのない歴史・文化・観光資源として、これからは龍馬の功績や意志を伝えていきたいと思っております。

最後に、高知県立坂本龍馬記念館の今後ますますのご発展をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

未来を担う青少年のために

龍馬生誕150年記念事業実行委員会委員長

澤村 拓夫



時恰も明治維新150年という節目の年に龍馬記念館がオープンされるという、何ともよき年であることか…。

この原動力は何と云っても歴代館長は

じめ学芸員スタッフ方々の自由な発想のもと新機軸を打ち出し、龍馬の魅力を発信し続けた努力があったからこそ行政の理解を実現したことには誰も異論はなかり。振り返って本館建設時の理念は未来を担う青少年に軸足を置き龍馬のような壮大なロマンを求め、郷里に誇りを持ち、地域活性化の推進力となるような人との願いを込めた「館づくり」だったように思う。

新館が完成されたことにより、観光拠点としての価値は益々増中され、両館の充実した機能を活かされ、内外の来館者に新たな感動と満足を提供出来るよう、そして本館建設時の理念も活かされるよう研ぎをかけられ、観光のシンボルとして発展されることを心から祈っています。

笑顔で温かい記念館に

女優

小林 綾子



坂本龍馬記念館グランドオープンおめでとうございます。

龍馬の人となりや時代、歴史を体験出来る新しく生まれ

変わった本館と、蔵のようにどっしりとした本格的博物館の新館。性格分けされた「動」と「静」の展示は、きっと歴史ファンだけではなく、更に沢山の人の心をワクワク楽しませてくれることと思います。

私も以前、記念館から桂浜を眺めた時、ふと龍馬の熱い想いが伝わってくるのを感じたことがありました。

龍馬の生き様や強い志には、時代を越えた尊敬や憧れがあり、今も尚、多くの人の心を捉え魅了し続けています。

これからも龍馬の偉大さや魅力を発信すると共に、人と人との心を繋ぐ笑顔に囲まれた温かい記念館となりますよう心から願っています。

未来へ 動き出す！

演歌歌手

三山 ひろし



この度は高知県立坂本龍馬記念館のグランド

オープン、誠におめでとうございます。

明治維新150年という節目の年にグランドオープンする事がとても感慨深いです。

そして、私も当日は維新博第2幕の開会式に参加させて頂き大変に光栄です。

私自身も歌手デビュー10周年の節目を迎え、新曲「いごっそ魂」を頂きました。

まさに坂本龍馬さんの生き様を描いた一曲です。

三山ひろしと皆様との歯車が合い、動き、これから未来へ動き出す！

そんな気がします。

二つの館で、 龍馬を学ぼう、龍馬と遊ぼう 新館・本館の紹介

新しい船出を迎

える記念館は、新旧二つの建物から成ります。それぞれが持つ特色と魅力について、簡単ではありますがありますがここに紹介いたします。

この度新築された建物を「新館」と呼びます。新館は、これまでにない本格的な博物館機能を備えた施設です。

中には三つの展示室があります。常設展示室は、坂本龍馬の事績を体系的に紹介する、当館の柱となる展示室です。広い展示室を使って、じっくりと余すことなく龍馬の生涯を紹介いたします。同じく常設のジョン万次郎展示室では、その名の通り万次郎ゆかりの品々を紹介いたします。コンパクトな空間いっぱい、万次郎の魅力が詰め込まれます。企画展示室では、年間四、五回の企画展が開催されます。個性豊かな企画展にもご期待ください。

既存の建物は「本館」と呼びます。個性豊かな外観はそのままに、内部は従来の装いを一新します。映像や音声などを駆

個性的な外観の本館（手前）の隣に
落ち着いた佇まいの新館（奥）が並ぶ





質量ともにスケールアップ

高知桂浜郵便局長

大崎 隆徳

桂浜郵便局へ赴任した平成11年夏。記念館から見える太平洋の美しさに感動したのを昨日の事のように思い出します。一代

目館長は小椋さん、温厚な人柄で元アナウンサーだけに引き込まれるような話ぶりでした。二代目館長の森さん、凄い行動力で新しい事に次々挑戦される方でした。三代目館長の高松さん、お酒が好きで話好き、一緒にいると楽しくなる方です。歴代館長の雰囲気とその時代の坂本龍馬記念館を彩ってきたように思います。

今回記念館がグランドオープンで質量ともにスケールアップされます。誰よりも私が楽しみにしています。記念館の益々のご発展をお祈り申し上げます。



龍馬のように！

高知市立浦戸小学校 校長

藤田 由紀子

グランドオープンおめでとうございます。

地元浦戸小学校よりお祝い申し上げます。

本校は、龍馬のように夢・絆・志を持って「未来をひらく子」の育成を目指した教育活動に取り組んでいます。

昨年は記念館のご協力のもと、全学年が龍馬について学習をしました。龍馬の人柄と行動を知ることによって、1人ひとりが「龍馬のように友達を大切にできる人になる」等自分のなりた

い姿を見出すことができました。子ども達は新しい記念館で龍馬に会う日を楽しみに待っています。



龍馬研究の総本山を目指して

京都国立博物館 上席研究員
坂本龍馬記念館リニューアル基本構想検討委員会・委員長

宮川 禎一

歴史を歴史学として理解するのではなく「人間を通じて知るべきだ」が筆者の主張です。日本史の中で坂本龍馬ほどそれに相応しい人間はいないでしょう。複雑きわまる幕末史も龍馬を通じて視ることが理解を深めるはずです。坂本龍馬記念館のグランドオープンにあたり幕末維新史の研究拠点となるべく今後も史料の調査・収集・研究そして展示公開をより一層進めていただきたいと思います。大いに期待しております。



末永く親しまれるように

ワークステーション/一級建築士事務所/本館及びリニューアル設計者

高橋 晶子

いよいよグランドオープンですね！

地元有志の募金で建設し

1991年高知県に寄付されてから現在まで、記念館が大きく成長、発展されたことを心からお祝い申し上げます。

文化財級の資料を収蔵、展示する新館は、本館と高さを揃えて並んで建ちながら、ガラス張りの本館とは対照的な、石垣のようなどっしりした建築です。大海を見晴らす場所の体感をそのまま龍馬のイメージに重ねた本館、時を超えて龍馬の息遣いを感じる新館。今後も末永く多くの方に親しまれますように。



えいもんができた！

株式会社丹青社 文化空間事業部

津野 仁志

グランドオープンおめでとうございます。高知に生まれ育った後、全国の文化施設の展示に携わった私にとって、この計画は特別でした。幼少の頃「坂本龍馬と言う偉人がおっ

の〜」と聞かされ自慢に思ったのを覚えています。そこで私は子供たちに龍馬を通じて郷土の誇りを育む事を使命の一つと感じ、計画を進めました。

展示を見て龍馬を知るきっかけになり、展望室で太平洋を見下ろし、その先の水平線から世界を感じる！えいもんができました。



本館と新館が対になる建築デザイン

石本建築事務所
プリンシパルアーキテクト/
新館設計者

能勢 修治

新館建設の目的は、重要文化財の展示・収蔵機能を持つこと

である。そのため新館は展示室と収蔵庫を2重の外壁と屋根で守り、万が一にも漏水を起こさない計画とした。開放的な本館に対し、閉鎖的で落ち着いた色調の珧器質タイルで覆われた新館は対極の表現となる。海側に大きく吊り構造で跳ねだす本館に対し、新館は来館者のアプローチとなる山側に向かって大きく跳ねだし、そこが坂本龍馬記念館の新しいエントランスとなる。

来館者には本館と新館の建築デザインの違いを楽しんで頂きたい。



「薩長同盟」のコーナーでは、龍馬が大きな役割を果たした薩長同盟について、映像をまじえて分かりやすく解説する

3・龍馬記念館だより



動線にも工夫を凝らした八つのコーナーで、来館者の好奇心をかき立てる

使した八つのコーナーで、勝海舟との出会い、薩長同盟、船での活躍

など、楽しみながら龍馬の生涯が学べます。歴史の専門的な話があり得意ではない方、また小さなお子様にも楽しんでいただける内容となっています。龍馬が生きた時代、そして龍馬の生涯を、心ゆくまで体験してください。また、本館の地下二階は「幕末写真館」で、龍馬ゆかりの人物や、同時代を生きた人物の写真を一堂に集めました。等身大に近い写真からは、その人となりまでもが感じられるようです。

面積は従来のおよそ倍となりましたが、内容はそれ以上に充実したものになったと自負しています。新生「龍馬の殿堂」へ学び、遊びにお越しください。

高山 嘉明

新館で初めての企画展示を 高知に伝わる「龍馬の手紙」が大集合！

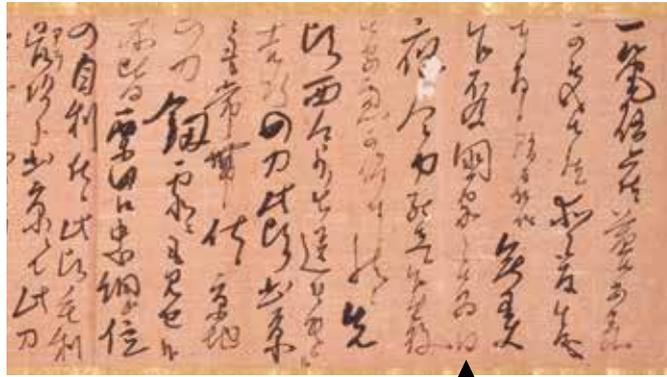
『土佐に遺された龍馬の「志」』

— 国家之御為日夜尽力罷在候 — 展

4月21日(土)～7月9日(月)

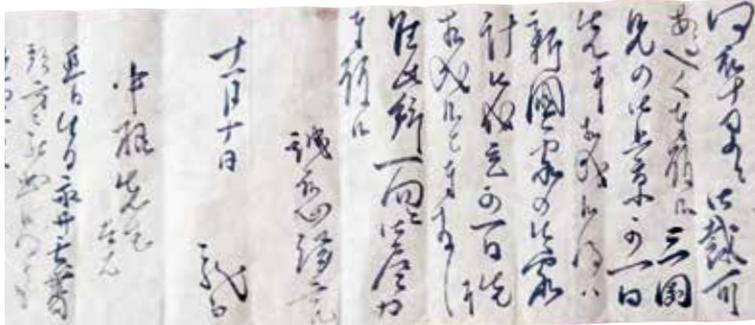
【趣旨】

全国に遺された龍馬の手紙は、いくつかの系統に別れる。最も有名なものは、京都国立博物館が所蔵している坂本家から寄贈されたもので、国の重要文化財に指定されている。その他、まったく遺されていないのは、木戸孝允に宛てた手紙を宮内庁書陵部が所蔵していたり、三吉慎蔵や伊藤助大夫など龍馬ゆかりの人物のご子孫が所蔵したりしている。



▲ 坂本権平宛ての慶応3年6月24日「国家之御為」の副題龍馬書簡

二日前に後藤象二郎へ送った手紙は、太平洋戦争で原本が焼失したと思われていたが、奇跡的に草稿が安田町出身の個人宅に遺されており、現在当館が所蔵している。安田町は龍馬の長姉、千鶴が嫁いだ高松家があたり、海援隊士の石田英吉の出身地だったり、龍馬にゆかりが深い場所で大きな縁を感じる。さらに、大政奉還150年の節目の年には、通称「新国家」の手紙や「大笑い」の手紙が相次いで見つかり、高知県が発表した。これら、土佐に遺された手紙は、京都国立博物館が所蔵する家族宛てと比べると、ユーモアには欠けるものの、国のために



「新国家」の言葉が見られる慶応3年11月10日、中根雪江宛て龍馬書簡

い内容の手紙が揃う。
三浦 夏樹

【展示書簡】

- 乙女・おやべ宛 文久3年秋頃 推定(弘松家寄託) / 坂本権平宛 慶応3年6月24日(同) / 乙女宛 慶応3年4月7日(中村家寄託) / 後藤象二郎宛 慶応3年11月(秦家寄託) / 坂本権平同宛 慶応2年12月4日 / 後藤象二郎宛 慶応3年10月13日(草稿) / 龍馬書簡 中根雪江宛 慶応3年11月10日(個人所蔵) / 権平・乙女 おやべ宛 慶応元年9月7日(高知県立歴史民俗資料館所蔵) / 林謙三宛 慶応3年11月10日、11日(同) 他

【記念講演会】

- 「坂本龍馬と幕末の長崎」 織田毅氏 (シボルト記念館館長(長崎) 6月9日(土) 14時 記念館ホール(120人) 詳細はHPなどでお知らせします

訃報

龍馬の子孫・坂本直寛の孫 土居晴夫氏ご逝去

土居晴夫さんが、2月16日に愛知県清須市で亡くなられました。94歳でした。



土居さんは坂本族の系譜研究第一人者として、長年研究や著述を続けておられました。また、高知市丹中山の坂本家墓所の保全整備にも貢献されました。

土居さんは龍馬の甥・坂本直寛の次男・勝清さんと艶子さんの次男として、大正12(1923)年5月、神戸市に生まれました。兄と弟二人は夭折。弟・哲夫さんと二人兄弟で育ちました。神戸市職員時代にご自身の出自である龍馬との関係などに興味を持たれ、仕事の合間を縫って坂本家の系譜研究に没頭されました。「もっと早う坂本家のことに興味を持っていたら、まだ生きとる人も身内の話もいっぱいあったのになあ」というのが口癖で、鉄道と歌舞伎を愛した人生でした。

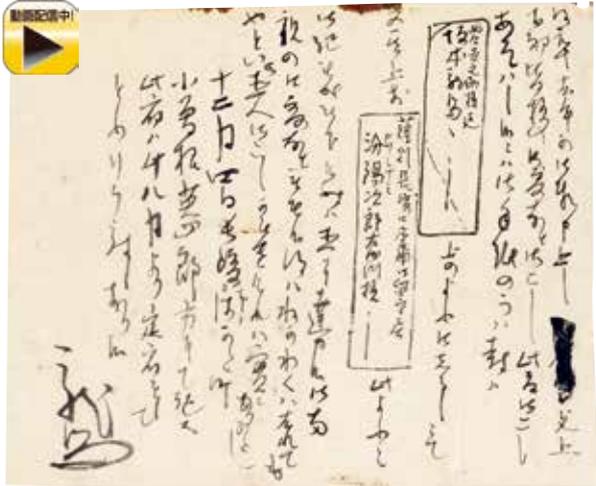
私はたまたま、亡くなる数日前に清須市の施設にいる土居さんを訪ねていました。その時はベッドで上体を上げたまま、2時間半お話をされました。先に逝かれた弟・哲夫さんの話になると「かわいそうやった」と涙ぐむ場面も。しみじみとした語り口でした。

「まだまだ書きたいことがある。小冊子でもええから出版したい」とおっしゃっていたのに、残念です。土居さん、長い間お疲れさまでした。心より哀悼の意を表します。

前田 由紀枝

個人所蔵者から龍馬書簡等の寄贈 坂本龍馬、坂本直らの新しい顔が見える史料

前田 由紀枝



①龍馬書簡・慶応2年12月4日兄権平一同宛（一部）

遅ればせながらのご報告になります。昨年夏、当館に朗報があったことをご存知の方が多いと思います。北海道にいる個人の方から当館に「慶応2年12月4日付・兄権平一同宛て龍馬書簡」が寄贈されました。本当にありがたいことだと心より感謝申し上げます。

寄贈の龍馬書簡について

この手紙は、今まで坂本直と坂本直寛の姉・茂の嫁ぎ先・弘松家に残る写本（澄心斎写し）でのみ確認されていたものです。その真筆が存在していたことは大きな驚きでした。

龍馬は「この手紙をもし親類の人にも見せるなら誰かに書き取らせたものを見せたい。原本は必ず乙女姉さんの元に納めてほしい」と懇願しています。乙女はそれを守って大切にしましたはずです。

その後大正2（1913）年末、北海道・釧路にいた坂本家は隣家から起こった大火で被災します。当時の当主・坂本弥太郎はこの手紙あるいは坂本家にあつたこの手紙の写しの一部を「焼失せる也」と書き記したため、釧路の火災で焼失したのではないかと思われていました。

12月4日は、龍馬が21歳のとき亡くなった父・八平の命日。慶応2年同日の龍馬はいよいよ

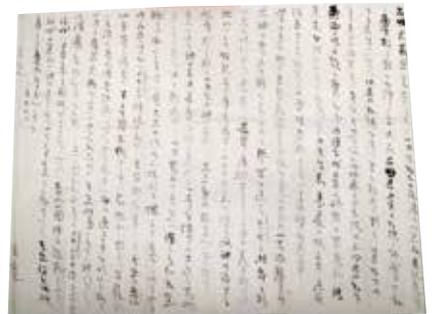
土佐藩参政後藤象二郎と手を結び、大政奉還など時代の転換期へ向かおうと画策しているころです。長崎小曾根邸において1年を振り返って兄や家族に手紙を3通（1〜3）を認めています。

1 今回の手紙は坂本権平、一同宛。慶応2年の報告と記録。半紙捲り6枚、約2,400字で、全体の約3分の1です。図入りの長い手紙で、全てがそろえば6メートル近くになります。半紙18枚のうちの6枚だと思われま

2 姉乙女宛＝薩摩・新婚旅行の報告といわれるもの（京都国立博物館所蔵）
3 兄権平宛＝「私が国難に臨むときには家宝の甲冑か、宝刀を分かち与えていただきました」という願い文。写しのみ（弘松家文書、原本不明）。

寄贈いただいた6枚の手紙は、

1枚目から5枚目までは話の途中ながら連続してつながっており、最後の1枚には伸びやかに書かれた「龍馬」の署名が見えます。（写真①）海戦図1枚を除いた残り11枚の行方を知りたいものです。



②直宛て坂本直寛の手紙

馬宛書簡（望月亀弥太より、前欠）や最後だといわれる仇討を遂げた廣井磐之助の手紙も貴重です。メキシコ移住を考えていた弟・直寛から直宛ての手紙（写

坂本直関係史料・百点余も寄贈

合せて、同じ所蔵者から、龍馬の甥で龍馬の跡を継いだ坂本直（旧姓・高松太郎）関係史料も寄贈いただきました。直宛ての手紙を中心としており、資料の少なかつた直についての研究が進むものと期待します。

内容は、幕末から明治20年代頃までのもので、龍馬関係（望月亀弥太、廣井磐之助、淡海樓堂ら）▽海援隊関係（千屋寅之助、新宮馬之助、佐柳高次、石田英吉、長岡謙吉ら）▽直の箱館府勤務時代外交関係▽土佐出身者（土方直行、大橋慎、島本伸道、細川潤次郎ら）▽直寛からの書簡などになります。数少ない龍

真②もあり、「我ら基督教徒として何を為すべきか」△大問題にして且神に由て之を解くのみ、小弟も既に四十を過てモーゼも此年に於て志を決行せり…」
「メキシコ移住の件多分都合宜しく貴兄ハ専心此の事業ニ従事するを以て天職としては如何」という記述も興味深いものです。

直関係史料の一部は、安田まちなみ交流館・和（安芸郡安田町）で2月に公開しました。

いずれも来歴の明白な貴重史料です。これらを永く大切に保管管理し、また展示公開するなどして、龍馬研究を進めていきます。ご寄贈者に対し深く感謝いたします。

飛騰の紙面にスマホをかざして動画を見よう！

視聴方法は簡単！



- ① 右のQRコードから無料アプリ「COCOAR2」をダウンロード
- ② アプリを起動し、マークのついた写真にスマホをかざす

※端末の環境により、イメージが認識されるまでに時間がかかる場合や、正常に動作しない場合があります。
※本コンテンツは2018年6月30日まで閲覧可能です。

長宗我部氏 盛衰のステーション



長宗我部氏
士佐談会会長
現代史龍馬学会理事
宅間 一之

長宗我部元親初陣の像から、潮騒の音を耳にし、咲く花を愛でながら浦戸の城まで散策する。人はこの道を「花海道」とよぶ。この路端に長宗我部氏に思いをはせる15箇所のパネルがたつ。この地には長宗我部氏盛衰の歴史を語る「長宗我部ステーション」がある。

土佐の戦国彩る「①長宗我部元親の登場」から始まる。16世紀初め各地の土豪達の動きは活発となり土佐戦国の幕が開く。群雄割拠、「②土佐戦国七守護の攻防」戦、時には激しく武力衝突、ある時は和睦と同盟をくり返し弱小土豪は消えていく。天正3(1575)年初陣から15年で、「③長宗我部元親の土佐統一」が実現する。勢いは「④元親四国制覇の野望」となつて燃え盛る。だがその前に天下人が立ちほだかった。「⑤長宗我部元親と織田信長」は一時交流を深めるが、領土返上の信長の要求を元親は拒否する。結果

は信長の四国征討となる。しかし本能寺の変で信長は倒れ、危機を脱した元親は四国の大半を支配下とした。しかし後継者秀吉も、元親に伊予、讃岐の返納を要求。ここに秀吉との対立も深まる。「⑥秀吉の四国進攻」を受け、50日程度の抵抗で降り領土は土佐一国となった。以来過激な「⑦豊臣家への奉公」は果てしなく続く。秀吉になって初の軍役は、島津軍に苦戦する豊後大友氏の救援であった。豊後戸次川の戦いで「⑧長宗我部信親、戸次川に死す」。元親は長男信親を失い長宗我部軍は壊滅し、長宗我部氏は苦難の時代を迎える。慶長4(1599)年元親は死去し、時代は関ヶ原の戦へと回転、後継者盛親も渦中に巻き込まれる。石田三成に加勢し「⑨関ヶ原への出陣」を果たすが敗北、盛親も試練の時をむかえる。そして「⑩大坂の陣と盛親最後の戦い」に挑むがこれも敗北、六条河原

で斬首、41才の生涯を終る。

「⑪長宗我部氏の居城 岡豊城」は南国市岡豊にあり、織豊系城郭として高い評価を受け国指定の史跡である。城山には高知県立歴史民俗資料館がある。

波瀾万丈の生涯をおくった「⑫元親の墓所と愛馬の碑」、そして長宗我部氏最期の居城「⑬浦戸城」も、元親の菩提寺「⑭雪蹊寺、信親墓、秦神社」もすぐ近くである。そして最後は「⑮一両具足の碑」。山内氏の浦戸城接収を拒んだ長宗我部の遺臣達、討取られた273の首は大坂に送られ、胴体はこの地に埋められた。六体地蔵は彼らの亡魂を慰めて今もたつ。

豪快に波しぶきあがる高知海岸、この波は元親の頃も変わりなく寄せていたであろう。いまは花咲くこの海道にも、歴史の風景は鮮烈に残る。



長宗我部元親をめぐるパネルがたつ花海道=高知市長浜

拜啓 龍馬殿

9通

平成29年9月21日〜平成30年3月20日



「世界の海援隊」

はるばる横浜からバスで10時間かけて来たけど旅館中ぜよ！あと土佐犬センターも閉鎖ぜよ！今日は高知の酒飲んでカツオでも食べます。あとシヤ毛鍋もいいかもしれません。気楽な一人旅です。ちなみに好きな龍馬工ピンズドは「龍馬がゆく」の「世界の海援隊でもやりますかね」工ピンズドで、あれは司馬遼太郎作品でも屈指の名場面だと思えます。学生の頃、アメリカに住んでまして、坂本龍馬のポスターを貼っていたら、アメリカ人のルームメイトに「彼はお前のじいさんか？」と聞かれたことがあります。「そっか」と答えました。そういうウソをつくことで、世界の海援隊スピリットのなものを自分の中に取り入れ、アメリカでがんばっていることと思つたのだと思います。では。

(9月24日 神奈川 N・I 43歳 男性)



「新しい時代」

新しい時代が私にもまいました。孤児の私が新しい親を得、子どもも得、その子どもが名古屋に行き、今度は？人目が兵庫県に行くことになりました。あと50年後にはきつと孫が外国に行くと思えます。日本は今世界で？番目に住みよい動物園になっています。50年後、世界が一つの国



「やっと」

龍馬さん大好きです。好きで好きでやっと高知に来ることができました。私も龍馬さんのような強い人間に(心が)なりたいたいです。

(10月11日 女性)



「勤続35年記念の休暇で」

お久しぶりです龍馬さん。約10年振りに再会しました。記念館が工事中であり残念ですが、桂浜の龍馬さんへ挨拶して行きます。私ごとですが、息子の「凌馬」も21才の社会人になり、反抗期ではないですが、親の言うことをあまり聞かない年齢になりました(以前伺ったとき息子はまだ11才でかわいい盛りでした。今回は会社に入つて35周年記念の休暇を活用して訪ねました。広島宮島、呉港を徘徊し、ここ桂浜を経由して、静岡富士の麓に寄つてから帰る予定です(車のなかで大変疲れますが)。今回ここでは時間がなくてゆっくりにできませんが、桂浜を見て心を落ち着けてから帰ります。また何年後かに時間を見つけてお伺いしたいと思えます。それではまた見守り願います。お土産買って帰ります。

(10月12日 秋田 T・K 54歳 男性)

高知商業学校初代名校長

波乱万丈な人生とユニークな人柄

「横山黄木詩碑」



浦戸城山から桂浜へ続く下り坂の途中に少し開けた場所がある。南国的な植栽を整え、はるか高知新港を望む静かな空間の中央にすくと建つ石碑。表面に刻まれた漢詩の流麗な文字は、車道からでも十分に目を引く。その筆跡と詩の作者は、横山又吉（1855～1939）。漢詩人、書家である。号の「黄木」は、横山の「横」の字を分けている。安政2年、高知城下の医師の四男に生まれ、自由民権運

動家で、後に教育者となり高知商業学校を創立した。同校は高知県民に馴染み深い現在の高知商業高校の前身で、初代校長として若者たちを育て名校長と称された。調べていくと興味を惹かれる人物で、「識見、理想ともに高く、闊達な人柄、人徳篤い」人であったらしい。高知市運動会で常到他校の最後尾を行進させられ元気のなかった生徒たちのために、市内の学校初のプラスチックバンド創設を思いつき、最前列での行進を実現させたこともあり、生徒たちの敬慕の的だったという。そうかと思えば、少年時代からかなりの腕白だったようだ。のちに妻となる美しい女性・楠猪を見初めた時、その父親（龍馬と同年の友人藤田栄馬）に「娘をもらえなければ家に火をつける」と言って、思い詰めたという。東京遊学で漢文

学を学ぶも、軍人志望に変わり陸軍士官学校に入るが、フランス語学習を嫌って中退して帰郷した。そんな若き日の数々のエピソードは面白い。

高知新聞で坂崎紫瀾や植木枝盛らと反政府の論陣を張り、発行禁止処分を受けると「新聞の葬式」を執り行った。明治20年には、租税徴収軽減や言論の自由などを要求する三大事件の建白のため上京し、「保安条例」廃止の建白を提出しようとして、坂本直寛らと逮捕、投獄された。

没後には門人によって「黄木詩集」が出版された。詩碑建立は昭和13（1938）年、黄木先生詩碑建設会・高知市立商業学校校友有志による。

時代を生き抜いた生涯に思いを馳せると、気概を持って信念を貫く行動力は、龍馬にも相通じる。実際にゆかりの地に立つと、この碑の意義深さがいっそう強く感じられた。

手島ゆか・佐々木恵

飛騰の紙面にスマホをかざして動画を見よう！

視聴方法は簡単！



- ① 右のQRコードから無料アプリ「COCOAR2」をダウンロード
- ② アプリを起動し マークのついた写真にスマホをかざす

※端末の環境により、イメージが認識されるまでに時間がかかる場合や、正常に動作しない場合があります。
※本コンテンツは2018年6月30日まで閲覧可能です。

職員紹介

「いよいよグランドオープン」



3月より坂本龍馬記念館に勤務することになりました松本と申します。

坂本龍馬は日本の大改革をしようと大きな志を持ちつつも、家族や友人にたくさんの手紙を残すという人との繋がりを大切にしたいと願っています。どうぞよろしくお願いたします。松本 友

「残念です」
四国を週間で西側を回りました。前は東側でした。昨日は足摺でジョン万次郎の記念館が休館で、今日はまた坂本龍馬にも嫌われて、休館でも残念です。
10月12日 66歳 女性

「突拍子もない」
私はあまり政治には詳しくないし、ふだん関心はありませんが、でももし龍馬さんが今の世の中を見たら、何をどう改革したら住み良くなると思いますか？斬新で突拍子もない意見を聞いてみたいです。あなたに会えたことを記念にビールで乾杯！しながら（私はノンアルコールだけです）。
11月21日 兵庫 M・M 54歳 女性

「龍馬！」
どうしゅうで！
11月27日 高知 N・T 67歳 男性

「さあ！」
むずかしい話はおとまわします！さあ呑ませよう！
12月30日 兵庫 Y・M 57歳 男性

編集者より

一年間という長期休館中にもたくさんの方が桂浜の龍馬に会いに来てくださいました。お寄せいただいたメッセージには「記念館が休館して残念だった」というご意見も多くありましたが、全国の龍馬ファンの皆さんにきっと満足していただけるような新館、そして子どもたちが帰りに帰らなくなるくらい楽しんでもらえる本館が完成しました。いよいよ4月21日グランドオープンです！
尾崎 由紀



■「装いも新たに始動する“海見える・ぎやうらい”



展示風景

“学び”の新館でたっぷり本物の資料をご覧いただき、“遊び”の本館では思いっきり色々な体験をした後、最後に海を見ながら作品を鑑賞していただけるほっと一息付ける空間、それが新装“海見える・ぎやうらい”の姿です。展示壁面も以前より多くなり、その色合いに広がりを感じます。

グランドオープン後のぎやうらいの運営は、年に2回の当館主催の企画展示とそれ以外の展示期間を設け、従来と形態を変更していく予定です。またご利用方法の詳細につきましては、当館ホームページなどにて別途ご案内いたします。

さて、グランドオープン第1弾の企画展示は、4月21日(土)～7月31日(火)開催「『一筆啓上龍馬殿』～“握手の鎖”と手紙でつなぐ～」展です。この展示会は、2015(平成27)年龍馬生誕180年という記念すべき年、同年の龍馬の誕生日11月15日に開催したイベント「第4回レッツゴー!ハンドインハンド」で、ソフトバンクグループ代表取締役社長CEO 孫正義さんのかけ声のもと、1000人を超える参加者による“握手の鎖”が繋がりました。このイベントへの参加者の皆様からいただいた龍馬へのメッセージ242通をつなぎ、当日の写真とともに約300点を展示します。これらを通じて、龍馬につながる様々な思いを感じていただければ幸いです。

第2弾は10月2日(火)～12月22日(土)「龍馬・Ryoma・りょうま」展(仮題)を開催予定です。リラックスできる“海見える・ぎやうらい”始動です。

中村 昌代



「『一筆啓上龍馬殿』～“握手の鎖”と手紙でつなぐ～」展

■ 観覧料・ホール利用について

◎グランドオープンに伴い、料金が改定されます。

観覧料	企画展が開催されている時	企画展が開催されていない時
大人(18歳以上)	700円	490円
団体(20名以上)	560円	390円

なお、高校生以下、高知県・高知市長寿手帳所持者、療育手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者(1名)は、従来通り無料です。

◎新設されたホールは、グランドオープン後、一般の方もご利用いただけます。

ホールの利用方法および利用料につきましては、詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせいたします。



編集後記

「画龍天晴(がりょうてんせい)」

あれっ、字が違う。と思われる方もいるだろう。本当は1面にあるように「画竜点睛」である。あえて龍馬さんの「龍」と「晴」を入れてみた。開館を前に最後に加える大切なものは「龍馬」の心である。最後の仕上げはこれしかない。龍の絵に点睛、つまり瞳を描き入れれば、龍は動き出す。開館までもうひと頑張り。天高く舞い上がる龍のような心持で21日のグランドオープンを迎えよう。皆で天晴(あっぱれ)といきたい。

さて、兄弟館と言われる2つの建物は対照的である。やんちゃな兄(本館)としっかり者の弟(新館)。つまりパフォーマンス館として様々

なブースで龍馬やその時代を紹介している本館と、国指定重要文化財である龍馬史料も並べられる本格的博物館仕様の新館。こんな対照的な建物を持つ博物館は世界でも数少ないという設計者の言葉は、そのまま記念館の特長となった。

今、職員の間には緊張とときめきが満ちてきた。1年間の休館が終わり、内覧会やオープニング式典のあとは、待ちかねてくださっている皆様をお迎えするときが来る。

新館入口のドアを開いて、どれだけの方たちが入って来られるのか。本館出口からどんな顔をして出て行かれるのか。職員一同笑顔でお迎えし、満足した皆様の笑顔をお見送りたい。(ゆ)

館だより“飛騰”第105号(年4回発行)

表紙題字:書家 沢田 明子氏

発行日 2018(平成30)年4月1日

発行 高知県立坂本龍馬記念館(公益財団法人高知県文化財団)

〒781-0262 高知市浦戸城山830 TEL(088)841-0001 FAX(088)841-0015

http://www.ryoma-kinenkan.jp 「飛騰」に対するご意見ご感想などお寄せください



「飛騰」は郵送料のみのご負担でお届けいたします。購読希望の方は120円切手をご希望回数(4回分まで)お送りください。

〒781-0262 高知市浦戸城山830 高知県立坂本龍馬記念館「飛騰」購読係 まで

私のテーマ

妖刀「村正」は官軍刀



小島 博明

古来より日本刀は武士の魂とされ大切にされて来たが、今や日本人の魂とさえ言われている。その魅力は武器としてのみならず深い精神性にある。二千人に余る刀工の中で「正宗」と「村正」は誰もがその二本の指に数える程に著名である。正宗は名刀として多くの大名家が所持し、その殆どが国宝に指定されているが村正は妖刀として恐れられた。それはその凄まじい切れ味と徳川家に祟る刀であったからだ。

その切れ味を示す興味深い逸話がある

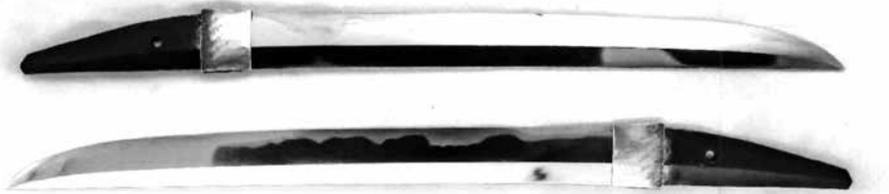
正宗の元で刀剣造りに励む村正は、切れ味に対する強い執着心を持っていた

(どんな刀より切れる刀剣を造りたい) そんな気持ちを含めて日々の鍛錬を重ねていた。そんな村正を正宗は心配し、一番弟子の貞宗と村正を呼び、お互いに鍛えた刀を川に突き立て切っ先を上流に



◇有栖川宮熾仁親皇 書 (飲無極)

向けた。そこへ一枚の木ノ葉が流れて来た。貞宗の刀は水流を分けるばかりで木ノ葉は貞宗を避けて下流へと流れて行った。だが村正は、そうはならなかった。なんと切っ先に吸い寄せられるように近づき真二つになったのだ。これを見た正宗は、勝ち誇った顔をす



◇伝村正(短刀) やはり銘は消されているが、村正の怨念か?永年の間に錆が生じたのか銘が判読できる。

徳川家との恐ろしい因縁

家康の祖父、清康が尾張に侵攻中、家臣の阿部弥七

妖刀転じて官軍刀となる

に命じた。この時多くの村正は処分され、銘を消され、村正妖刀伝説が数多く生まれ



◇十六弁菊花御紋透鐔

宮熾仁親皇の心境はいかばかりであったろうか、『飲無極』の気持であったろうか。

底では徳川家を恨み続けていた鳥津家は十数振りの村正の刀を隠し持っていた事が知られている。その為、有栖川宮熾仁親王の村正の太刀は鳥津家より提供された太刀であろうと考えられている。

郎に背後から一刀両断にされたが、その刀、父親の広忠がやはり家臣の岩松八弥に刺された傷が元で死んだが、その脇差、家康の嫡男が武田勝頼との内通を織田信長に疑われ、自刃を命じられ、その時の介錯刀、そして正室の築山御前を切った野中重正の刀もその全てが村正であった。家康自身も今川家に人質に出されていた少年時代、村正の短刀で怪我をしているし、関ヶ原の戦いで戦功あった武將の槍を檢分している時、家臣が取り落とし指を切った。細川幽斉はこの槍を微塵に砕いたと言う。「村正は当家に祟るもの、全て打ち捨てよ」と家臣

村正の短刀を投げつけたが、すんでの処でこれを知り、九死に一生を得た家康は幸村を天下一の武將と褒め称えたと云う。幕末、倒幕を望む諸藩の志士は競って村正を求めた為、多くの偽物が出る騒ぎとなった。

戊辰戦争(今年が150年となる)では、只今放送中のNHK大河ドラマ『西郷どん』こと西郷隆盛は村正の刀を所持していた。そして自ら志願して東征軍の旗頭として十六弁の菊花御紋を刺繍した錦の御旗を掲げ、大総督として江戸城に入城した「有栖川宮熾仁親皇」(公武合体策により文久2年(1862)年2月、十四代将軍徳川家茂に降嫁した皇女和宮の許嫁)は村正の太刀を腰に佩っていた事は有名な話であるが、この時の有栖川

龍馬のひろば

高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会では、会員のみなさんの声を集める方法をいろいろと協議を重ねてきました。その中で、メーリングリスト方式についても検討を重ねましたが、今回はハガキで4つの課題について意見集約を試みようということになりました。その中身は、①この会の将来のあるべき姿について、②教科書から坂本龍馬が消えてしまうかもしれないことについて、③私が坂本龍馬に惚れ込んだ理由、④現在研究を進めている事柄の紹介…です。ハガキはすべての会員のみなさんにお届けをいたしました。

初めてのことで、戸惑う会員さんもいたのでしょうか。残念ながら事務局へ届いたハガキは20枚少々でした。でも、「この人はこんなことを考えていたのか」と思う発見があったり、龍馬に関連した様々な分野で活躍しておられる方々の生の声を聴かせていただく機会となったり…で、私自身は大喜びしながら読ませていただいたことでした。

第1回目はこのようなスタートとなりましたが、会員相互の情報交換や交流の場になればいいと思っています。まだ、お手元にハガキがある方は、ぜひご投函くださるようお願いいたします「龍馬のひろば」のオープンといたします。

現代龍馬学会 会長 宮 英司

① この会の将来のあるべき姿について

兵庫県尼崎市 楠本剛

あるべき姿というか、ひとつの提案ですが、SNSを使って普段から会員相互に情報や意見の交換ができる場があれば良いかなと考えます。

また、有志が集まって何かしらの活動(例えば、龍馬の啓蒙活動などを企画し、総会で活動報告をするなど)その他、若い世代の会員が入る様な企画を考えたいです。

② 教科書から坂本龍馬が消えてしまうかもしれないことについて

高知県 宮村耕資

暗記することが多く負担等を理由として龍馬をはじめ歴史上の人物を削減するというなかで、龍馬がピックアップされる事態が関係者の認識の乏しさと本末転倒な短絡的考へが伺える。逆に人物を通じて物語るように、なぜ脱藩?なぜ薩長同盟?なぜ大政奉還?等の発想や行動を通じて授業を行うと食いつき自然と吸収できる学習となると確信している!

香川県丸亀市 野藤等

歴史用語の削減は、教科書で歴史を学ぶ生徒の負担軽減が目的というなら、ずばり、受験勉強のためであろう。

歴史学習は、人名・地名と年代と歴史用語はつきもので、過去に生起したことをあるがまま学習して、今の私たちがあることを学ぶことである。

以前、「ゆとり教育」で円周率を3にしたが、その愚行の再来か。

高知県 橋詰明仁

龍馬やこの時代を活躍した先人の名が教科書から消えてしまふという事などあってはなりません。この国をなんとかして新しい近代国家にし自由・平等・博愛の精神を基に今の日本を築いた人々の事をどうやって教えるというのですか。自分の祖父や祖母達のおかげで今の自分があるように、龍馬さん達のおかげで今の日本があるのです。司馬さんのいう「この国のかたち」を教えるのに「龍馬」は「必修」です。

高知県 宮英司

高校の教科書から龍馬の記述が消えてしまうかもしれない。何と愚かなことでしょうか?

実は、その原因は小学校の人物中心の歴史学習の42人の中に龍馬が入っていないことからきていると思います。何とか小学校の社会科指導書に坂本龍馬を載せていただくように運動を盛りあげていきたいと思っています。皆様どうお考えですか?

③ 私が坂本龍馬に惚れ込んだ理由

北海道札幌市 椿原庸夫

- (1) 新しい日本をつくるため、命を賭して行動していた
- (2) 幕末時代に「自由」「平等」の思想を大事にしていた
- (3) 世界を視野に入れるという先見性を持っていた
- (4) 未開の大地・北海道に「新国家」をつくるという夢を抱いていた
- (5) 今風に言えば、政治家、経済人、プロデューサーなど、マルチな才能を有し、人間的な魅力を感じさせる

愛媛県松山市 西村直記

世の為、人の為に行うその姿は、誰からも尊敬されるものです。なかなかできないことです。暗殺されることなく、その一生を見てみたかったです。その後の世の中の変わりを、知りました

かった。これからの若い人たちの、未来を楽しみにしています。

高知市 中田優

(1) 抜群のヒューマニストであること

(2) 機知とユーモア精神に富んでいること

(3) レベルの高い人から学ぼうとする姿勢を堅持していること

(4) 目先のことでなく国の将来等のスケールの大きい夢をいつも抱いていること

(5) 身分や貧富等にとらわれず発想が天衣無縫であること
以上が憧れの龍馬さん

東京都 北野正幸

幕末風雲の中で龍馬ら塾生が海軍修行していた幕府公認の神戸海軍塾の閉鎖が決まり日本の海軍を作る夢が断たれた。脱藩浪士の龍馬には帰る藩がなく前途多難と思われたが船を使う仕事を天職にして侍が商売（海運業・亀山社中）を始めた。龍馬が商売上手とは意外でしたが少人数の家族向きの小さい会社で龍馬なりに道を開いた。

東京都 阿納裕次郎

龍馬には夢がある。龍馬には勇気がある。龍馬には希望がある。龍馬には情熱がある。龍馬

には華がある。龍馬には慈愛がある。龍馬には未来がある。龍馬には同苦の心がある。龍馬には挑戦の気概がある。龍馬には戦う魂がある。龍馬には青年の息吹がある。龍馬には青年の生き様がある。——だから私は龍馬に惚れた。

高知県土佐市 森本琢磨

幕末という動乱の時代、何が正解か分からない情勢の中、行動を起こし、人と人をつなげ、近代日本の扉を切り開いた所に魅力を感じる。龍馬自身は決して権力者ではないが、多くの人から信頼され、最終的にはその人脈や人間力を生かして藩や幕府をも動かした。龍馬の人としての魅力は、現在の我々も生かすべき点が多々あるだろう。

④ 現在研究を進めている事柄の紹介

高知県土佐清水市 鈴木典子

池道之助の書き遺した「今昔大変記」を今、現代訳にしようと取り組んでいるところです。それによると、津波の押し寄せる前、中濱浦の湾の入口まで潮が引いてしまったとあります。又津波から逃れるため、高台に上がったならば、物を取りに部落

に降りてはならないことも記されていて、今日でも参考になる記録がたくさんです。

福岡県大牟田市 幸田義勝

三池藩は豊臣秀吉が九州平定の論功行賞で与えた1万8千石の領地です。

関ヶ原の戦いで西軍に味方した為領地没収、その後加藤清正の計らいで、常陸国に5千石の領地をもらい旗本に。6代藩主立花種周は若年寄等命じられるが、政争に敗れた角で領地没収、その後陸奥国に5千石、最後の藩主種恭は14代將軍家茂の側近となり、三池藩再び立藩となる。

神奈川県横浜市 皆川真理子

呉では、千田武志「日清戦争後における海軍の私立造船所の育成と艦船の発注——川崎造船所と白峰造船所を例として——」2015、市川裕士「白峰造船所の設立と吉浦村」2016、相次いで研究論文が発表されている。

かたや、私。調べることが山積みになっていく。今は、論文の参考文献を集めて、学んでいる。面白い。

高知市 岡崎洋一郎

私は芸西村生まれ。龍馬は慶応三年に暗殺されたが前年の1月薩長同盟成立の2日後寺田屋で襲撃されお龍の機転で助かる。龍馬亡き後お龍は芸西の海援隊士菅野覚兵衛に妹君枝が嫁いでいた縁で一時芸西に身を寄せた後に、晩年は横須賀に住み龍馬は同市大津の信楽寺に在る。お龍とお龍馬から横須賀市や大津との交流を深めている。

高知市 根木勢介

幕末・明治維新から150年の今年。龍馬や慎太郎など勤王志士たちが作った政体や現在の日本文化も源流を辿れば、150年前に起因。私が生きているこの時代がどのように作られて来たのか、を辿ってみる。この150年を、明治維新を、振り返ることは、現在・今を問う事でもある。

東京都 永田斉子

坂本龍馬の妻、お龍が愛奏した楽器、月琴の演奏と研究をしています。中国から長崎に伝わった月琴は幕末・明治時代に全国的に流行しました。お龍をはじめ、幕末に月琴を嗜んだ人物の日記や手紙を通じてその音

楽の諸相を研究しています。朗読音楽会「月琴で綴る龍馬の手紙」公演を通じて月琴の普及活動を行っています。

東京都 小美濃清明

最近、刊行した「坂本龍馬大鑑」に書いたことだが、坂本龍馬は「貞観政要」を読んでいた。この書は唐の太宗の言行録であり、中国の古典的名著である。北条政子も徳川家康も熟読していた。

国家をどのように統治するかを論じている。龍馬は漢文を読めなかったというのは虚像である。龍馬の実像はこれからの研究で分かってくる。

兵庫県神戸市 政井寛保

数多くある龍馬関係史料、文献等から後世に創られたイメージを取り除き、できるだけ史実に基づいた龍馬を追究し、その上で龍馬の魅力とは一体何なのかという事を研究しています。

いかがでしたでしょうか。「同感！」と叫んでいる方もいるのではないのでしょうか。今後も折に触れて、こうした会員参加型の企画を実施したいと思えます。今回、掲載できなかった会員さんの文章は次の機会に載せさせていただきます。ご了承ください。

「龍馬は大人になってから」

宮川 禎一

いささか話題とする時期が遅れているが、龍馬を歴史教科書からはずす問題を書いておきたい。龍馬は教科書に載せるほどの具体的活動をしていない(はずな)ので、中学生の日本史の教科書からは除外してはどうか?という意見に対して「それはけしからん」などという話題が平成29年末のマスコミを賑わしたことを皆さま記憶されているであろう。

うが居まいがいずれそうになったのだ・という歴史学者的な意見がその根底にあるように感じる。筆者がいつも言っている「歴史が主役なのか?それとも人間が主役なのか?」という命題に行きつくと思う。

筆者は「たいしたことではないから載せなくても良い」などという一見まっとうそうな意見を言ったり、「そうだそうだとそのとおり」などと同調したりする人々には「うんうん、あなたたちにはそう見えているのね」と言いたい。確かに教科書を書く歴史の先生方には龍馬は分かりづらいし、評価が難しい人物である。伊能忠敬のように定年後に天文学を勉強し、本格的な日本地図を作りました、という中学生に教えるにふさわしい人物とは対極だ。龍馬はある意味、教科書になじまない人物ではないか。

筆者は「龍馬は教科書に載せなくてよい」と思う。なぜなら龍馬の活動はとて一行で書けるようなものではないし、簡単には評価できない複雑でとらえ難い人物だからだ。教科書的な歴史観の外側に飛び出している。龍馬はウイスキーのような人間であり、未成年者にはまだ早い。多少なりとも社会経験を積んでから「龍馬がゆく」を読んでも遅くはないと思う。「龍馬は大人になってから」である。(これは逆説的な褒め言葉です。この書くと子供もこっそり読みたくなるので大丈夫)

薩長同盟の仲介者は坂本龍馬や中岡慎太郎や土方久元ら土佐出身者が中心だったことは周知されているが、薩摩と長州が主役であり、仲介者は脇役、すなわち龍馬が居よ



教科書からははずせない「鳥羽伏見の戦い」の開戦地石碑

コラム・龍馬のこと

「勝海舟と坂本龍馬」

政井 寛保

坂本龍馬の生涯において欠かす事のできない人物の一人が勝海舟である。私も大好きな人物だ。そこでご存知の方も多と思われるが海舟と龍馬の関係を海舟の史料を基に少し触れてみようと思う。海舟の日記に龍馬が登場したのは文久2年(1862)12月29日(この年は大晦日)が最初である。入門時期や小説やドラマで描かれてきた劇的な入門をしたのかは「氷川清話」に少し書かれているが、海舟の性格上、記録は不得意で日付の間違いや重要な事実の欠陥が多らしく、正確には不明である。注目すべきは日記には、しばしば坂本龍馬にだけは「龍馬子」と「子」をつけている。これは傑出した存在である事を認めた事の表現らしく、優れた人物だと評価されていた。その海舟と行動を共にしながら元治元年(1864)8月23日を最後に海舟の日記から消えてしまう。接触が皆無だったとは考えにくい、後は伝聞として一回登場するのみで次は龍馬死後である。さてその伝聞が私には重要に思われる。その伝聞とは薩長密約に関してだ。慶応二年(1866)1月21日薩長交渉が行なわれ、同2月5日に桂の書面に裏書をする。その間、大久保一翁や幕府関係者にも掴めなかった情報を同2月1日に海舟は知っていた。しかもその間を周旋していたのが弟子の龍馬である事も知っていた。どこからその情報を得たのかは不明であるが、海舟と龍馬との関係が続いていた可能性も十分に考えられる。最後に海舟と龍馬の共通点に注目してみた。(庶民と共に育った下級武士)これが龍馬の原点であり、海舟も同じ様な環境で育ってきた。故宮地佐一郎氏が江戸っ子と土佐人は気が合うと仰っていたそうで、その様な事も二人の絶妙な師弟関係にも影響があったのではなか。少しではあるが海舟と龍馬の関係性について追ってみた。

第10回

高知県立坂本龍馬記念館 現代龍馬学会 研究発表会

テーマ 明治維新150年
～龍馬が目指した新国家～

日時 2018年5月26日(土) 10:00~17:20
会場 高知県立坂本龍馬記念館 新館ホール
定員 120名(参加無料・要申込)

【特別講演】

10:10~ 角鹿 尚計 氏 (福井市立郷土歴史博物館 館長)
「福井藩と坂本龍馬―特に『越行の記』・『新国家』書簡を中心に―」

【研究発表】

- 11:40~ 網谷 喜行 氏 (鹿児島県立短期大学名誉教授・「吉田」本家末裔)
「二つの『明治維新』と吉田東洋の藩政改革」
- 14:00~ 岩崎 義郎 氏 (NPO法人土佐観光ガイドボランティア協会顧問)
「西郷隆盛、二度の土佐来国」
- 15:00~ 中村 茂生 氏 (高知大学非常勤講師)
「『海援隊』はどう描かれたか―戦前期の舞台と映画から」
- 16:10~ 高山 嘉明 氏 (坂本龍馬記念館学芸員)
「幕末期京都における土佐藩の活動」

参加ご希望の方は現代龍馬学会事務局までお申込みください。

【お申込み・お問合わせ】

高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会事務局
電話 088-841-0001 F A X 088-841-0015
MAIL gendai-ryoma@kochi-bunkazaidan.or.jp